

全世代居場所と出番構想

全世代交流フリースペースがオープン

12月1日(木)、いきいき情報センター1階に全世代交流フリースペースをオープンしました。
 この場所は、コロナ禍の長期化で高校や大学での対面授業や部活動などが制限された中、学生が気軽に交流、学習できる場所が地域に欲しいと、市内の大学生が要望したことをきっかけに設置しました。
 オープンに先立ち、この場所の活用方法について市内の高校生と大学生にアイデアを募集し、11月27日(日)に開催したオープニングイベントで提案発表してもらいました。
 「小さな図書館にする」「子どもと高齢者のふれあいができる場所にする」など、高校生、大学生らしい柔軟な発想がたくさんありました。今後の活用の参考にしていきます。
 全世代交流フリースペースは、学生だけでなく、幅広い世代のどなたでも利用できます。

利用時間 月曜～日曜 午前9時～午後9時30分 ※毎月最終水曜を除く
 場所は変更になることがあります。

場所 いきいき情報センター1階
 自習席 10席 ミーティングテーブル 6台
 フリーWi-Fiを完備しています。

皆さんも気軽に
 利用してください



自習席
 1席ずつ間仕切りされ、
 自習やテスト勉強にぴったりです。



ミーティングテーブル
 懇談や打ち合わせ、友人と一緒に
 利用できます。

人材育成

太宰府高校1年生が総合学習で市役所訪問

本市と包括連携協定を結んでいる福岡県立太宰府高校の1年生が11月4日(金)、総合的な探究の時間として「太宰府臨場研修」の一環で市役所を訪れました。
 太宰府のまちについて自ら調べ、楠田市長や市職員へ直接質問をしながら学びを深めました。10グループ37人の生徒が、福祉や防災、子育てなどのテーマに分かれて学習しました。



福祉をテーマに学習する生徒

私のだざいふ

太宰府市総合戦略推進委員
 九州大学大学院比較社会文化研究院教授

せ てるひさ
 施 光恒さん



「伝統と新しさ」の両面を備えた街。太宰府市に対する私のイメージです。「伝統」は言うまでもありません。「新しさ」は高校時代の思い出が関係しています。福岡市の高校に通っていた私は、高3のとき図書委員長を務めていました。図書館の広報紙の企画で、当時開館3年目だった太宰府市民図書館を訪れました。貸出冊数の制限の撤廃やレファレンスの充実など、市民図書館は多くの新しい取り組みを行い、評判になっていたからです。初代館長の坂井暉さんは、市外の高校生の稚拙な質問にも大変丁寧に応じ、さまざまな取り組みを紹介して下さいました。
 時を経て、昨年私は、太宰府市の文化財保存活用地域計画策定協議会の委員を務めました。その際は市民グループが主体となって文化遺産を支えていく「市民遺産」という新しい優れた試みを知りました。
 伝統を大切にしつつも、新たな試みや工夫を積極的に行う太宰府市の街づくりに少しでもお役に立てればと思っています。

Contents

目次
 2023年1月号

特集

- 【表紙関連】
 新春座談会、くすの記拡大版 …… 2～3
- 市制施行40周年記念イベントを
 開催します …… 8～9
- 新型コロナウイルスワクチンの接種に
 ついて …… 9
- 中学校完全給食について …… 10～11
- 新型コロナウイルス対応緊急支援策
 …… 12
- ラジオ放送で市政・観光情報を発信します
 …… 13
- 令和4年分の確定申告をしましょう… 14
- 市からのお知らせ …… 15～19
- 連載 …… 20～28
- なんでも情報コーナー …… 29～35
- 太宰府の文化財 …… 36

市政ニュース

安心・安全のまちづくり 福岡県交通安全県民大会で本市と市民団体が表彰されました

第38回福岡県交通安全県民大会が11月15日(火)に開催され、令和4年度福岡県交通安全推進市区町村表彰で本市が晴れて最優秀賞を受賞しました。5年連続で交通事故件数が減少していることなどが評価されました。
 また、毎日の見守り活動などを通じ、子どもたちの登下校の安全に大きく貢献いただいている「国分小学校児童見守りボランティア」が、交通安全優良団体として福岡県警察本部長・福岡県交通安全協会会長連盟表彰を受賞しました。



表彰状を掲げる
 西山自治会長(左)と楠田市長

令和の都さらに羽ばたく太宰府 「大宰府アカデミー・令和編」プレイベント開催

過去にも人気の太宰府の歴史文化を学ぶ「大宰府アカデミー・令和編」を令和5～6年度に行うと公益財団法人古都大宰府保存協会が発表しました。
 このプレイベントが日本経済大学で11月16日(水)に開催され、会場で331人、オンラインで78人が受講し、楠田市長も万葉衣装でお祝いメッセージを送りました。
 「東アジアのなかの太宰府～古代と現代を繋ぐもの」をテーマに、アカデミー学長の佐藤信東京大学名誉教授と本市出身の宮本雄二元駐中国大使から基調講演があり、アカデミー副学長の赤司善彦さんを司会に三者で対談が行われました。
 古代の遣唐使と現代の大使の役割や外交儀礼の比較など、興味深い話がありました。



会談を熱心に聞く参加者

STEAM教育の実現 「子ども大学だざいふ・ふくおか」開校

楠田市長も名誉学長を務める第5回「子ども大学だざいふ・ふくおか」が、九州大学筑紫キャンパスで11月27日(日)に開校されました。

子どもの素朴な疑問に答えるために、俳優の紺野美沙子さんをはじめ各分野の専門家が事例や体験を交えながらアクティブ・ラーニング方式の授業を行い、子どもたちの好奇心あふれる生き生きとした姿が見られました。



名誉学長としてあいさつする楠田市長

史跡地の先進的多用途活用 客館跡でフードトラックと移動図書館すくすく号合同出店

史跡地を先進的多用途活用することで魅力を高め経済税収効果を高めるため、飲食物を移動販売するフードトラックと移動図書館すくすく号を11月20日(日)、合同で出店しました。

利用者からは、「史跡地を有効利用していて良かった」「本やフードがあるので子どもを連れて来れた」と喜びの声がありました。

この取り組みは史跡地活用の実証実験でもあり、データを検証して今後の市政運営に役立てていきます。



フードトラックとすくすく号の利用者

まちのトピックス

史跡地の先進的多用途活用 日本遺産「西の都」ふれあいウォーク開催

爽やかな秋晴れのなか、史跡地の先進的多用途活用の一環でもある一般社団法人太宰府観光協会主催『日本遺産「西の都」ふれあいウォーク』が10月29日(土)に開催されました。

本市が誇る日本遺産「西の都」構成文化財やストーリーをより多くの人に知らせようと、市内観光の回遊性向上を図るため、大宰府史跡解説員による史跡解説などを交えながら現地を歩いて巡るものです。

約2,000人の参加者が令和発祥の地大宰府政庁跡に集まり、秋の景色と歴史、文化を感じながらウォーキングを楽しみました。ゴール地点では、イベントのために制作された梅入りの特製お餅「旅人の梅」が振る舞われました。



スタート地点から歩きはじめる参加者

市民の活躍 筑紫地区少年愛護連盟表彰

筑紫地区少年愛護連盟表彰式が11月17日(木)に春日市ふれあい文化センターで開催されました。本市からは次の人が表彰されました

緊急時の救助	
東谷 紘 (筑陽学園中学校1年)	
人命救助・負傷者の介助	
有尾 彩良 (福岡農業高等学校2年)	
岡田 彩花 (福岡農業高等学校2年)	



表彰式の出席者

市内事業者の活躍 おもてなしクリーンアップ作戦実施

市内事業所で構成する太宰府市産業推進保有会などが協力して、大宰府政庁跡南側水路の清掃と五条交差点までの県道植樹帯の除草作業を11月26日(土)、行いました。

50人程の参加者は、気持ちよく太宰府を訪れてもらいたいというおもてなしの思いをもって、作業に取り組んでいました。



水路の清掃をする参加者

史跡地の先進的多用途活用 「梅花の宴」映画作品撮影

史跡地の先進的多用途活用の事案の一つとして、「梅花の宴」をテーマにした映画作品の制作を進めています。長年、万葉文化の普及に尽力している大宰府万葉会から協力・監修を受けています。

梅花の宴は過ぐる1300年前の天平の世大宰帥大伴旅人によって催され、その情景は万葉集にも描かれ、元号令和の由縁ともなりました。

主演の大伴旅人役には福岡県出身の俳優田中健さんを迎え、地元大学生なども参加し11月に令和発祥の地大宰府政庁跡などで撮影を行いました。

完成した作品は、まずは市制施行40周年記念行事で公開し、その後も市の行事などで放映を予定しています。どうぞ楽しみにお待ちください。



大宰府政庁跡で撮影をした出演者と監督

学生との連携 市内大学生と楠田市長の意見交換会開催

市内5大学の学生と楠田市長が、「Withコロナの生活」をテーマに11月10日(木)、意見交換を行いました。

学生たちは、コロナ禍3年目となり対面授業が再開したことで友人との交流や外出の機会が増えた喜びを語りました。また、中止が続いていたイベントの再開は経験不足で苦労していることや、現在もコロナ対策が欠かせない状況など、さまざまな思いが聞かれました。

楠田市長は学生からの、「学友会のメンバーにどのように意見を共有しリードすれば良いか」「社会に出てより早く結果を出す人の人物像は」などの質問に、自身の経験を踏まえて答えていました。



意見交換する当日の参加者たち

市制施行40周年 福岡県読書推進大会太宰府市大会開催

福岡県読書推進大会太宰府市大会がプラム・カルコア太宰府市民ホールで11月12日(土)に開催されました。

本との出会いや読書が豊かな人生の糧となることへの理解を深め、読書活動をより充実させることを目的とするものです。

優良読書グループとして「えほんとわらべうた プチ・ぶちぶち」が表彰され、日ごろ行っている読み聞かせを実演しました。また、本市出身の作家、岡崎琢磨さんが自身の経験から、読書がいかにかに人生を豊かに彩るかについて講演しました。

来場者からも好評で、読書への意欲が高まる一日になりました。



軍手人形などで読み聞かせを実演する「えほんとわらべうた プチ・ぶちぶち」

学校法人との連携 筑紫台高校と包括連携協定締結

学校法人筑紫台学園筑紫台高等学校と11月8日(火)、包括連携協定を締結しました。まちづくりビジョンに則り、地域の活性化や次代を担う世界に羽ばたく人材育成を目的としています。

これまで、コロナ禍の社会貢献として生徒が作った飛沫感染防止アクリルパーテーションの寄贈を受けるなど、連携を図ってきました。

生徒からは「高校での学びを地域貢献で発揮し、学校と太宰府市の魅力を広げたい」と頼もしい言葉がありました。

今後もさらなる連携を図り、協働のまちづくりに取り組みます。



協定締結式の参加者